

【第一号議案】

第 61 年度（2025 年度）事業報告書

【概況】

2025 年度の我が国経済は、4 月から大阪・夢洲で、大阪関西万博が半年間開催された。開幕前の想定を大幅に上回り、目標来場者数を超える約 2,900 万人が来場し、政府によると約 3 兆 6,000 億円の経済波及効果があった。一方で、米などの需給ひっ迫による食料品価格の高騰、労務費アップによる価格転嫁の影響を受け、生活必需品も含めて物価上昇が続いた。2025 年の春闘では 5%を超える歴史的な賃上げが実現したものの、中小企業にその波及はなく、実質賃金の上昇を感じられない状況が続いている。

こうした中、創立 70 周年を迎えたジャグラは、6 月のジャグラ文化典東京大会で周年を盛大に祝うとともに、20 年振りに記念誌を編纂した。また、2 期目となる岡本会長のもと、「価格競争から価値競創へ～今こそグラフィックサービス業に転換しよう～」のスローガンを掲げ、価格に負けない価値の創出を目指した。

具体的には、日本印刷産業連合会を通じて、印刷産業全体として発注者に適正な取引やコストアップの価格転嫁を訴えかけるとともに、本部事業で開発したジャグラコンパクト DX 事業の各種ツールを「啓蒙」から「実践・定着」のフェーズへと移行。データクレンジング Robo、バーコード工程管理、単品損益管理の教科書、そして防災拠点印刷物作成システム「ジャグラコンパス®」などのツールの提供を本格的に開始した。

広報事業では、ジャグラ公式アプリの登録者が 790 名に達し、プッシュ通知による迅速な情報提供を定着させた。ジャグラ作品展では、「開発・開拓部門」の伸長により、623 点の応募を達成。ジャグラコンテスト（ジャグラテスト）も第 4 期を実施し、12 名の認定オペレーターを輩出した。年賀状デザインコンテストも、年賀状離れや郵便料金値上げ等の厳しい環境下ながら 275 点の応募を維持し、会員の受注支援ツールとして活用された。個人情報保護関連では、プライバシーマーク審査業務の継続性維持のため、新たな審査員の養成と格上げ認定を行い、審査体制の強化を図った。

組織強化の面では、2025 年 6 月の定時総会で会員拡大委員会を新設し、「1 支部 1 社以上の純増」を目標に掲げ、全国協議会で地協、支部の現状と今後の活動方針について議論を深めた。引き続き、2 月には page2026 へ出展し、ジャグラのメリットを広く PR し、会員拡大に努めた。

青年部 SPACE-21 は、10 月に茨城県土浦市で「AI 上等」をテーマに全国協議会を開催し、105 名の参加を得て生成 AI の活用と団体を超えた交流を深めた。

会員数は入会 29 社、退会 35 社、総数 692 社で推移した。

各事業の詳細を別冊の通り報告する。

【事業】

〔1〕 総務・財政

1. 正副会長会議

(1) 委員会の開催

正副会長会議ではジャグラの総務、財政、委員会総括、会館運営、災害時・非常時の対応等について検討を行っている。2025 年度は下記日程で会議を開催した。

回次	日付	会場
第1回	2025 年 05 月 02 日	Web 会議
第2回	2025 年 06 月 10 日	Web 会議
第3回	2025 年 07 月 03 日	Web 会議
第4回	2025 年 08 月 28 日	Web 会議
第5回	2025 年 10 月 24 日	ジャグラ本部
第6回	2025 年 12 月 03 日	Web 会議
第7回	2026 年 03 月 03 日	Web 会議

2. 委員長会議

委員長会議では各委員長が正副会長に事業の進捗報告を行い、指示を受ける。

2025 年度は 2025 年 8 月 25 日、2026 年 2 月 17 日に Web 会議を開催した。

3. ジャグラ文化典の開催

(1) 日程

ジャグラ文化典は 2025 年 6 月 20 日、東京都台東区の浅草ビューホテルにて開催した。

ジャグラ文化典開催期間中とその前後は、次の行事を実施した。

月日	時間	行事	会場
6 月 20 日	8:40～	記念ゴルフコンペ	茨城ゴルフ倶楽部
	14:00～	DX 会社見学会	(株)いなみつ
	18:30～	ウエルカムパーティ	俺のフレンチ グランメゾン
6 月 21 日	12:00～	作品展の展示	浅草ビューホテル
	13:00～	定時総会	
	15:00～	文化典式典	
	16:30～	ジャグラ DX 報告	
	18:00～	文化典懇親会	
6 月 22 日	8:00～	オプションツアー(日帰)	東京都内
6 月 22 日～23 日	8:00～	オプションツアー(1泊)	東京都内 (伊豆大島)

(2) 経済産業大臣表彰（敬称略）

賞	会社名	氏 名	支 部
経済産業大臣表彰	(株)大光社	谷 川 聡	京都
経済産業大臣表彰	(株)みつわ	尾 形 文 貴	千葉
経済産業大臣表彰	(株)興栄社	菅 野 潔	東京・城東

(3) 業界功労

賞	会社名	氏名	支 部
文化功労賞		沖 敬 三	東京・文京
発展功労賞	池田屋印刷(株)	八 木 伴 則	静岡
発展功労賞	(株)ニシキコネクト	宮 崎 真	広島
業界功労賞	トーバン印刷(株)	菅 原 正 行	岩手
業界功労賞	共栄印刷(株)	有 賀 隆 宏	福島
業界功労賞	(株)旭洋社	山 下 英 作	東京・文京
業界功労賞	(株)アイト	谷 口 美 保	東京・文京
永年協力賞	(株)横浜プリント	福 谷 英 樹	神奈川
永年協力賞	大進印刷(株)	岸 田 孝	東京・文京
永年協力賞	(有)コミュニケーション・フォーム	増 田 武 夫	東京・文京
永年協力賞	ほいち工房	大 石 保 幸	静岡
永年協力賞	(株)キュープリント大分	薬師寺 英二	大分
特別功労賞		清 水 良 二	員外
特別功労賞		藤 尾 泰 一	員外

(4) 優良従業員表彰（敬称略）

賞	会社名	氏 名	支 部
優良従業員	(株)東北プリント	伊 藤 安 紀	宮城
優良従業員	(株)東北プリント	堀 越 ま や	宮城
優良従業員	陽光社印刷(株)	東海林 美里	福島
優良従業員	(株)研美社	宇 野 伸 弥	東京・中央
優良従業員	(株)研美社	古 川 真由子	東京・中央
優良従業員	(株)いなみつ	後 藤 裕 太	東京・港
優良従業員	(株)いなみつ	鈴 木 大 輔	東京・港
優良従業員	(株)いなみつ	山 田 貴	東京・港
優良従業員	(株)昇文堂	朝 倉 伸 一	東京・港
優良従業員	(株)創土社	長 谷 川 勝	東京・港
優良従業員	(株)東京技術協会	茶 圓 幸 一	東京・港
優良従業員	(株)文伸	有 馬 靖 了	東京・三多摩

賞	会社名	氏 名	支 部
優良従業員	(株)文伸	川 井 尚 子	東京・三多摩
優良従業員	(株)ニシキコネクト	海 川 静 香	広島
優良従業員	(株)ニシキコネクト	渡 部 由 加	広島

4. 全国協議会の開催

2025 年 11 月 8 日～9 日に東京・両国の KFC ホール、第一ホテル両国で全国協議会を開催した。

日 付	時 間	次 第	会 場
11/8	13:00	岡本会長 開会あいさつ	KFC ホール
	13:10	座長就任、趣旨説明 15 分	
	13:25	新入会員パネルディスカッション 「何故、ジャグラに入会したのか」	
	13:55	2 年連続会員増達成支部による発表	
	14:10	休憩	
	14:20	テーブルディスカッション	
	15:50	まとめ時間	
	16:00	テーブルディスカッション発表 (10 地協×5 分)	
	16:50	総括 10 分	
	17:00	「年賀状デザインコンテスト」表彰式	
	17:15	ジャグラ文化典大阪大会 PR	
	17:25	日本プリンティングアカデミーPR	
	17:40	閉会あいさつ	
	18:00	懇親会	第一ホテル両国
11/9	09:25	座長就任、開会案内 5 分	KFC ホール
	09:30	進行説明、開会あいさつ	
	09:40	生産性向上委員会発表	
	10:00	MIS 研究委員会発表	
	10:20	地域活性化委員会	
	10:40	業態進化委員会	
	11:00	質疑応答	
	11:05	サステイナブル委員会中間報告	
	11:15	その他委員会報告	
	11:30	閉会あいさつ	

5. 財政（会館含む）

(1) 会館会計

ニッケイビルテナント

2026年3月31日

階 層	坪 数	テナント名
9F / B	7.9	共用会議室
9F / A	19.52	ジャグラショートカット教室
8F	38.48	共用会議室
7F	45.83	ジャグラ・東グラ・自費出版ネットワーク
6F	51.40	株式会社アイセル
5F / B	32.90	公益財団法人医用原子力技術研究振興財団
5F / A	18.50	農林水産省職員生活協同組合
4F	51.40	株式会社西村機械製作所
3F	55.09	一般社団法人全国鍼灸マッサージ協会
2F	55.09	PET ボトル協議会
1F	37.14	有限会社エヌシークリエイト
計	413.25	

(2) グループ保険の支部加入状況

グループ保険現在加入数

2026年3月31日現在

支部 地協	26.03.31 会員数	従業員	25.03.31 加入者数	26.03.31 加入者数	加入 増減	支部 地協	26.03.31 会員数	従業員	25.03.31 加入者数	26.03.31 加入者数	加入 増減
北海道	8	162	23	23	0	岐阜	0	0	0	0	0
北海道計	8	162	23	23	0	静岡	2	13	0	0	0
青森	1	8	0	0	0	愛知	44	578	7	7	0
岩手	20	74	3	3	0	三重	0	0	0	0	0
宮城	16	114	14	14	0	東海計	46	591	7	7	0
秋田	19	115	10	10	0	滋賀	3	19	2	2	0
山形	5	30	0	0	0	京都	11	118	38	38	0
福島	12	219	21	21	0	大阪	59	1032	118	116	-2
東北計	73	560	48	48	0	兵庫	19	255	0	0	0
茨城	7	59	9	0	-9	奈良	4	35	9	9	0
栃木	8	85	0	0	0	和歌山	12	90	0	0	0
群馬	5	137	1	1	0	近畿計	108	1549	167	165	-2
埼玉	3	10	0	0	0	鳥取	0	0	0	0	0
千葉	12	140	10	10	0	島根	0	0	0	0	0
神奈川	33	445	12	12	0	岡山	4	16	0	0	0
山梨	14	59	16	20	4	広島	9	69	9	8	-1
長野	12	133	3	0	-3	山口	6	66	1	1	0
関東計	94	1068	51	43	-8	中国計	19	151	10	9	-1
千代田	46	1690	39	39	0	徳島	9	73	6	6	0
中央	14	188	1	1	0	香川	11	48	7	6	-1
港	28	422	0	0	0	愛媛	6	58	0	0	0
新宿	45	390	6	6	0	高知	8	114	2	2	0
文京	51	483	16	15	-1	四国計	34	293	15	14	-1
城東	24	284	30	24	-6	福岡	17	151	11	11	0
城西	13	129	1	1	0	佐賀	0	0	0	0	0
城南	9	63	5	4	-1	長崎	0	0	0	0	0
城北	0	0	0	0	0	熊本	6	40	0	0	0
三多摩	19	177	4	0	-4	大分	9	56	3	1	-2
JaGra	0	3	5	4	-1	宮崎	1	21	0	0	0
東グラ	0	2	3	3	0	鹿児島	5	348	2	2	0
東京計	249	3831	110	97	-13	沖縄	0	0	0	0	0
新潟	9	154	0	0	0	九州計	38	616	16	14	-2
富山	5	17	2	1	-1						
石川	9	81	0	0	0						
福井	0	0	0	0	0						
北陸計	23	252	2	1	-1	全国計	692	9073	449	421	-28

〔2〕 組織拡大・活性化

1. 組織拡大

(1) 組織拡大の活動

組織拡大については、前期に引き続き入会金免除と次期徴収期まで会費免除を実施した。また、2026年2月に東京池袋のpage展に出展し、ジャグラの活動をPRした。その結果、今期は入会29社、退会35社、差し引きマイナス6社であった。

(2) 組織拡大表彰

2018年より入会があり実質増になった支部を表彰している。

今期は、神奈川県支部(+2)、東京・千代田支部(+3)、東京・城東支部(+2)、東京・城西支部(+2)、東京・三多摩支部(+5)、愛知県支部(+4)が対象となった。

(3) 従業員規模別入会退会数

従業員規模別の入会・退会数は表の通りである。

従業員規模	1～4	5～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～	合計
■入会社数	13	8	3	3	2	0	0	29
■退会理由								
倒産	1	1	2	0	0	0	0	4
廃業(転業・合併)	2	5	0	0	0	0	0	7
経営不振(事業の縮小・一身上の都合)	1	0	0	0	0	0	0	1
会費滞納	0	0	0	0	0	0	0	0
メリットなし	1	0	1	0	0	0	0	2
不明・その他	7	10	3	1	0	0	0	21
合 計	12	16	6	1	0	0	0	35

(4) 賛助会員との連携

賛助会員とのネットワークを強めるため、例年、全国協議会の懇親会に賛助会員を招いて交流を深めている。

(5) 支部別会員数

2026年3月31日現在の支部別会員数は表の通りである。

JaGra 支部別会員数 (2025年4月1日～2026年3月31日)											
支部・地協	25.04.01 会員数	入会	退会	増減	26.03.31 会員数	支部・地協	25.04.01 会員数	入会	退会	増減	26.03.31 会員数
北海道	11	0	3	(3)	8	岐阜	0	0	0	0	0
北海道計	11	0	3	(3)	8	静岡	2	0	0	0	2
青森	1	0	0	0	1	愛知	40	4	0	4	44
岩手	20	0	0	0	20	三重	0	0	0	0	0
宮城	16	0	0	0	16	東海計	42	4	0	4	46
秋田	19	0	0	0	19	滋賀	3	0	0	0	3
山形	5	0	0	0	5	京都	13	0	2	(2)	11
福島	12	0	0	0	12	大阪	61	2	4	(2)	59
東北計	73	0	0	0	73	兵庫	20	0	1	(1)	19
茨城	9	0	2	(2)	7	奈良	4	0	0	0	4
栃木	10	0	2	(2)	8	和歌山	12	0	0	0	12
群馬	5	0	0	0	5	近畿計	113	2	6	(4)	108
埼玉	3	0	0	0	3	鳥取	1	0	1	(1)	0
千葉	12	0	0	0	12	島根	0	0	0	0	0
神奈川	31	2	0	2	33	岡山	4	0	0	0	4
山梨	14	0	0	0	14	広島	10	0	1	(1)	9
長野	12	0	0	0	12	山口	6	0	0	0	6
関東計	96	2	4	(2)	94	中国計	21	0	2	(2)	19
千代田	43	5	2	3	46	徳島	9	0	0	0	9
中央	16	0	2	(2)	14	香川	11	1	1	0	11
港	29	2	3	(1)	28	愛媛	8	0	2	(2)	6
新宿	46	1	2	(1)	45	高知	9	0	1	(1)	8
文京	51	3	3	0	51	四国計	37	1	4	(3)	34
城東	22	2	0	2	24	福岡	17	0	0	0	17
城西	11	2	0	2	13	佐賀	0	0	0	0	0
城南	9	0	0	0	9	長崎	0	0	0	0	0
城北	0	0	0	0	0	熊本	6	0	0	0	6
三多摩	14	5	0	5	19	大分	9	0	0	0	9
東京計	241	20	12	8	249	宮崎	1	0	0	0	1
新潟	10	0	1	(1)	9	鹿児島	5	0	0	0	5
富山	5	0	0	0	5	沖縄	0	0	0	0	0
石川	11	0	2	(2)	9	九州計	38	0	0	0	38
福井	0	0	0	0	0						
北陸計	26	0	3	(3)	23	全国計	698	29	35	(6)	692

〔3〕 広報事業

別冊参照

〔4〕 ジャグラコンパクト DX 事業①

別冊参照

〔5〕 ジャグラコンパクト DX 事業②

別冊参照

〔6〕 クロスメディア研究事業

別冊参照

〔7〕 コンテスト事業

別冊参照

〔8〕 組織強化事業

別冊参照

〔9〕 個人情報保護事業

別冊参照

〔10〕その他

1. 自費出版文化賞

(1) 第28回日本自費出版文化賞

① 活動日

第28回日本自費出版文化賞は以下の日程で実施した。

- 2024年11月01日 公募開始
- 2025年03月31日 公募締切
- 2025年4月～6月 第一次選考
- 2025年07月05日 第二次選考
- 2025年09月01日 最終選考会（東急REIホテル）
- 2025年09月01日 記者発表会（東急REIホテル）
- 2025年11月08日 第28回日本自費出版文化賞表彰式（アルカディア市ヶ谷）

② 第28回日本自費出版文化賞の結果

応募総数 805 点（地域文化部門 102 点、個人誌部門 112 点、小説部門 215 点、エッセー部門 121 点、詩歌部門 79 点、研究・評論部門 114 点、グラフィック部門 62 点）の中より、一次選考、二次選考、最終選考を経て次の作品が入賞した。

主な入賞作品

◆大賞

※該当なし

◆色川大吉賞

部門	書名	著者
個人誌	私のことはわたしが決める ―松本移住の夢をかなえたがん患者、77 歳―	竹内 尚代

◆部門賞

部門	書名	著者
地域文化	紙で残す私の 1 枚	「紙で残す私の 1 枚」刊行委員会 〈編〉
個人誌	手記「もやいの海」	菅原 洋一
小説	あたし、お地蔵さんになれるかな？ 運がいいとか悪いとか	東 英文
エッセー	実話 税務調査	照 伝光
詩歌	句集 匙のうら	森 羽久衣
研究・評論	関東大震災・検見川事件 ―「検見川事件」秋田・三重・沖縄県人殺害 附・沖縄県人の震災体験―	島袋 和幸
グラフィック	大人の健康づくりと子育てのことをマンガにしてみた。	かさね

- ◆特別賞 地域文化：コニカミノルタジャパン賞、個人誌：リョービMHI グラフィックテクノロジー賞、
小説：ハイデルベルグ・ジャパン賞、エッセー：キングコーポレーション賞、詩歌：ショーワ賞、
研究・評論：ホリゾン・ジャパン賞、グラフィック：富士フイルムグラフィックソリューション賞

部門	書名	著者
地域文化	足尾鉍毒事件 一人ひとりの谷中村	永瀬 一哉
個人誌	みちのく朝日連峰山だより ーある村の小屋番日記からー	西澤 信雄
小説	謝名元慶福作品集 ファインダーの中の戦場	謝名元 慶福
エッセー	今日も世界の片隅で ーテレビの裏側で 30 年ー	宮澤 豊孝
詩歌	歌集 別れと知らず	名嘉真 恵美子
研究・評論	ex-dreams ーもうひとつのミッドセンチュリーアーキテクチャー	福島 加津也、富永 祥子、 佐脇 礼二郎〈編集・企画〉
グラフィック	FOOD ART ーMoment of beautyー	袴田 尚弥

◆シルバー特別賞（協賛会社＝コダック合同会社賞）

部門	書名	著者
小説	命の一升瓶 ーパラオからの引揚船ー	田邊 泉

③ 最終審査員（敬称略・順不同）

- 鎌田 慧 ルポライター
- 中山千夏 作家
- 秋林哲也 編集者
- 佐藤和夫 哲学思想研究者・千葉大学名誉教授
- 藤野健一 編集者
- 小池一子 クリエイティブ・ディレクター
- 成田龍一 歴史家・日本女子大学名誉教授

④ 後援（敬称略・順不同）

- 株式会社朝日新聞社
- 一般社団法人日本印刷産業連合会
- 公益社団法人日本図書館協会
- 日本自分史学会
- 関東複写センター協同組合

⑤ 協賛（敬称略・順不同）

- 富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社
- リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
- ホリゾン・ジャパン株式会社
- 株式会社ショーワ
- コニカミノルタジャパン株式会社
- ハイデルベルグ・ジャパン株式会社
- 株式会社キングコーポレーション
- コダック合同会社
- キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- リコージャパン株式会社

- 株式会社SCREEN GPジャパン
- 理想科学工業株式会社
- 誠伸商事株式会社

(2) 第29回日本自費出版文化賞

第29回日本自費出版文化賞は以下の日程で実施する。

- 2025年12月01日 公募開始
- 2026年03月31日 公募締切
- 2026年4月～6月 一次選考
- 2026年07月 二次選考会（入選候補作品が決定）
- 2026年09月 最終選考会（入賞作品、大賞、入選作品を発表）
- 2026年11月07日 表彰式（アルカディア市ヶ谷）

2. マスターズクラブ

(1) 総会の開催

マスターズクラブは、ジャグラ役員OBにて構成する組織で、現役役員、後継者のSPACE-21との融合による英知の結集を期待して活動している。

2025年度は5月17日、東北地方協議会の総会・懇親会への招待を受け、吉岡会長、沖相談役の2名が出席した。また、東京の浅草ビューホテルで開催されたジャグラ文化典東京大会に合わせ、6月19日茨城ゴルフクラブにてマスターズクラブ懇親ゴルフ大会開催。6月21日11時00分から浅草ビューホテルにて、第6回総会を開催した（参加者22名）。また、総会後の7月22日は、ジャグラ岡本会長と今後のマスターズクラブ運営についての意見交換をはかるべく会議を開催した。

第7回総会は、ジャグラ文化典大阪大会開催地であるリーガロイヤルホテル大阪にて2026年6月20日に開催することとした。

(2) 広報事業

機関誌12月号に「マスターズクラブメンバー募集」記事を1ページ掲載し、メンバー募集を行った。

3. 70周年記念誌編纂委員会

(1) 委員会の開催

ジャグラが2025年で創立70周年を迎えるにあたり、70周年記念誌の制作に着手した。

その編纂に携わる委員会として2024年度に70周年記念誌編纂委員会を発足し、2025年度は、2025年5月26日、8月21日、10月29日、11月27日、12月18日、2026年1月19日、3月2日にWebで委員会を開催した。

(2) 活動内容

70周年誌のテーマについて意見交換し、記念誌としてだけでなく、未来に向けたメッセージも贈るような内容も盛り込むことを決定。歴史と未来展望、資料の3つの柱を中心に、各章立てを行った。また、編集・印刷に関しては東京・三多摩支部の(株)文伸へ依頼した。同社も交えてページ割を作成し、各記事の委託先などを検討した。50周年誌を参考に賛助会員様に記事広告を依頼する一方で、会員に向けて協賛広告を募った。

① 70周年誌仕様

- A4判 ソフトカバー 小口折製本
- 表紙：用紙 4C×0+加工 小口折
- 本扉：用紙 1C×0（特色）

- 本文：用紙未定 135頁 4C×4C
- 完成：2026 年 3 月

② 委託先

70 周年誌編集、レイアウト、印刷手配を(株)文伸（東京・三多摩支部）に委託した。

③ 章立て

序章

- 発刊のご挨拶
- 本書について

【第 1 章 歴史】

- 歴史1 ジャグラ60年の歩み
- column 自費出版ネットワークの誕生と日本自費出版文化賞の創設
- 歴史2 2015-2025年
- 年表 2006-2024年
- ルーツを辿る 孔版印刷の歴史といま
- 誌面美術館 素晴らしき謄写印刷の世界

【第 2 章 進化】

- 特別企画 歴代会長座談会 全国のジャグラの仲間と共に創注を
- 時代変遷 1 印刷通販の登場 破壊者からパートナーへ
- 時代変遷 2 DXとジャグラ事業 100年後のジャグラを展望する
- 時代変遷 3 生成AIの時代 AI対談 生成AIの時代がもたらすもの
- 未来展望1 印刷ビジネス70年の軌跡と展望 情報デザインのさらなる高みへ
- 未来展望2 若手経営者座談会 課題解決業を自覚し新たな価値づくりを

【第 3 章 資料】

- 設立趣意書、業界理念、ロゴマーク
- 定款
- 歴代会長
- 歴代役員
- 歴代顧問・相談役・参与 など
- 歴代地協会長
- 歴代支部長
- column 次世代を担うSPACE-21

協賛広告

編集後記

奥付

④ 広告

ジャグラ正会員向け・賛助会員向けに広告を募集した。

- 正会員向け：1～8 コマ・1 ページの名刺広告
- 賛助会員向け：2 分の 1 サイズの会社紹介

4. 公益法人改革

(1) 公益目的支出計画実施報告書の記載修正

ジャグラは、2014（平成 26）年 4 月 1 日より一般社団法人日本グラフィックサービス工業会として活動している。これに伴い、毎年度終了後、内閣府に所要の報告をしているが、2019（平成 31 年令和元）年度公益目的支出計画実施報告書を提出した。記載修正依頼があり対応した。

(2) 公益目的財産額と公益目的支出計画

公益目的財産とは、これまで公益法人として税制等の利益を享受し蓄積してきた財産は公益目的に利用することを要請されているもので、一般社団法人に移行した前日の財産がこれに相当する。

ジャグラは、公益目的財産を利用する公益事業としては「個人情報保護の推進とプライバシーマークの資格審査業務」「印刷技術向上等のためのジャグラ BB による情報配信事業」「DTP スクールの運営事業」の 3 事業を計画して申請している。

これまでの公益目的財産額の推移は次のとおりである。（単位：円）

年 度	移行申請時の計画 (収入－支出)	毎年の計画 (収支予算)	毎年の実績 (決算書)	公益目的財産残額
2014 年 3 月 31 日				257,431,570
2014 年度	18,306,160	30,064,208	19,322,560	238,109,010
2015 年度	18,306,160	28,254,684	16,724,557	221,384,453
2016 年度	18,306,160	28,096,297	23,223,362	198,161,091
2017 年度	18,306,160	33,434,152	24,977,900	173,183,191
2018 年度	18,306,160	31,703,761	23,126,553	150,056,638
2019 年度	18,306,160	32,653,319	28,104,052	121,952,586
2020 年度	18,306,160	31,837,874	22,322,815	99,629,771
2021 年度	18,306,160	37,229,496	27,619,722	72,010,049
2022 年度	18,306,160	35,913,731	25,107,949	46,902,100
2023 年度	18,306,160	23,655,000	21,244,286	25,657,814
2024 年度	18,306,160	37,712,927	21,137,996	4,519,818
2025 年度	18,306,160	36,478,101	21,991,257	0

表記の通り、本年をもって公益目的支出計画は終了する。

2026年6月20日

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
会長 岡本 泰

公益法人改革に伴う公益目的支出計画の終了についてのお知らせ

2008年12月1日の公益法人制度改革関連法完全施行を受け、社団法人日本グラフィックサービス工業会は、2014年4月1日より一般社団法人日本グラフィックサービス工業会として活動をスタートしてまいりました。これに伴い、内閣府より、これまで公益法人として税制等の利益を享受し蓄積してきた財産を公益目的に利用することが要請されました。

ジャグラは内閣府から示された一般社団法人に移行した前日までの財産（公益目的財産額）をこれまで「公益目的支出計画」に沿って、支出してまいりましたが、2025年度末をもって公益目的財産を公益目的にて支出し完済しましたのでご報告いたします。

なお、ジャグラの公益目的財産を利用する公益事業としては「個人情報保護の推進とプライバシーマークの資格審査業務」「印刷技術向上等のためのジャグラBBによる情報配信事業」「DTPスクールの運営事業」の3つの事業を推進してきました。

一般社団法人への完全移行となりましたが、今後も引き続き公益性を追求した団体として各種事業を推進してまいります。

〔主要な会議〕

1. 総会

2025 年 06 月 21 日(土) 第 60 回定時総会 東京都・浅草ビューホテル

2. 理事会

2025 年 05 月 09 日(金) 第 1 回 ジャグラ本部+Web

2025 年 07 月 11 日(金) 第 2 回 ジャグラ本部+Web

2025 年 09 月 11 日(木) 第 3 回 ジャグラ本部+Web

2025 年 11 月 07 日(金) 第 4 回 K F C ホール

2026 年 01 月 07 日(水) 第 5 回 Web

2026 年 03 月 19 日(木) 第 6 回 ジャグラ本部+Web

3. 全国協議会

2025 年 11 月 07 日(金) K F C ホール

2025 年 11 月 08 日(土) K F C ホール

〔理事監事ならびに顧問相談役参与および名誉会員一覧〔2026 年 3 月 31 日現在〕〕

会 長	岡本 泰	副 会 長	原田 大輔	副 会 長	後藤 卓也
副 会 長	尾形 文貴	副 会 長	神山 明彦	副 会 長	岡 達也
副 会 長	森 孝	専務理事	田中 良平	理 事	渡辺 辰美
理 事	戸来 一裕	理 事	松原 巧	理 事	伊東 邦彦
理 事	宮澤 徹	理 事	樋貝 浩久	理 事	小澤孝一郎
理 事	笹井 靖夫	理 事	鈴木 将人	理 事	稲満 信祐
理 事	齋藤 秀勝	理 事	中村 盟	理 事	笹岡 誠
理 事	武川 優	理 事	谷川 聡	理 事	佐藤 元
理 事	松下 忠	理 事	山本 康彦		
理 事	土 慶一郎	理 事	本村 豪経		
監 事	露木 貴弘	監 事	善甫 博史	監 事	前沢 寿博
名誉顧問	今井 茂雄	顧 問	吉岡 新	顧 問	中村 耀
相 談 役	熊谷 正司	相 談 役	藤井 治夫	相 談 役	中島 博
相 談 役	谷 忠明	相 談 役	沖 敬三	相 談 役	金子 徹
相 談 役	山本 耕司	相 談 役	岩下 登		
参 与	田端 章	参 与	伊藤 文雄	参 与	青木 滋
参 与	都築 延男	参 与	藤田 信昭		

2024 年度（令和 6・第 60 年度）～2025 年度（令和 7・第 61 年度）事業と役割分担

2024（令和 6）年 07 月 10 日理事会 承認
 2024（令和 6）年 11 月 08 日理事会 承認
 2025（令和 7）年 01 月 08 日理事会 承認
 2025（令和 7）年 07 月 11 日理事会 承認
 2025（令和 7）年 11 月 07 日理事会 承認
 2026（令和 8）年 01 月 07 日理事会 承認

事業	委員会	役割	委員
	正副会長会議	委員長	岡本 泰 会長 原田 大輔 副会長 後藤 卓也 副会長 尾形 文貴 副会長 神山 明彦 副会長 岡 達也 副会長 森 孝 副会長 谷川 聡 理事（財務担当） 田中 良平 専務理事
広報事業	広報委員会	担当理事 委員長 BB 担当 機関誌担当 オブザーバー	神山 明彦 副会長 本村 豪経 理事 小澤孝一郎 理事 東海林正豊（秋田） 笹井 靖夫 理事 谷山 和也（東京・文京） 野口 淳（東京・文京） 松谷 勝広（東京・文京） 西谷 毅（東京・文京） 瀬尾 淳（広島） 三宮 健司（高知） 佐藤 愛子（大分） 安達 睦男（大分） 田中 良平 専務理事 西岡 佐記（東京・中央）
ジャグラコン パクトDX事業①	生産性向上委員会	担当理事 委員長 副委員長	原田 大輔 副会長 宮崎 真（広島） 岸 昌洋（北海道） 内田 剛（コニカミノルタジャパン(株)） 佐藤 幸一（リコージャパン(株)） 小山 直仁（ホリゾン・ジャパン(株)） 清水 雅司（和歌山） 今井 克（大阪） 近森純一郎（高知）

	M I S研究委員会	担当理事 委員長 副委員長	原田 大輔 副会長 稲満 信祐 理事 山本 康彦 理事 戸来 一裕 (岩手) 松谷 勝広 (東京・文京) 内田 剛 (コニカミノルタジャパン(株)) 前田 正樹 (富士フイルムグラフィックソリューションズ(株)) 松本 一彦 (株)SPIRITS) 須藤 智 (リコージャパン(株))
ジャグラコン パクトDX事 業②	地域活性化委員会	担当理事 委員長 副委員長	岡 達也 副会長 齋藤 秀勝 理事 西村 啓 (高知) 木戸 敏雄 (東京・新宿) 佐藤 愛子 (大分) 杉田 晴紀 (富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)) 青木 麗子 (リコージャパン(株)) 神山 和彦 (GMIS) 加藤 利則 (株)モリサワ)
	業態進化委員会	担当理事 委員長 副委員長	岡 達也 副会長 中村 盟 理事 田治 宏敬 (大阪) 佐藤 元 理事 熊谷 健司 (秋田) 木戸 敏雄 (東京・新宿) 小林 佳之 (東京・文京) 川上 辰夫 (東京・文京) 水谷 元泰 (愛知) 青木 英城 (大阪) 作本 卓也 (兵庫) 十河 尚史 (香川) 坂本圭一朗 (高知) 小林 与晴 (コニカミノルタジャパン(株))
クロスメディア研究事業	ジャグラコン テスト委員会	担当理事 委員長 専門委員 専門委員 専門委員 専門委員 専門委員	森 孝 副会長 笹岡 誠 理事 浅野 健一 (東京・文京) 楠藤 治 (徳島) 松永 英明 (鹿児島) 谷 麻雄 ジャグラショートカット講師 波多江潤子 ジャグラショートカット講師 樋口 泰行 ジャグラショートカット講師 高山由利子 (長野) 古山 裕也 (新潟)

		専門委員 専門委員	長渡 洋介 (宮崎) 吉野 章 (第6回優勝者)
	ジャグラ ショートカット運営委員会	担当理事 委員長	森 孝 副会長 武川 優 理事 笹岡 誠 理事 平原 真敬 (東京・文京) 只野 高史 (東京・文京) 児玉 年史 (東京・城西)
コンテスト事業	年賀状デザインコンテスト委員会	担当理事 委員長	尾形 文貴 副会長 樋貝 浩久 理事 鈴木 真吾 (茨城) 岡澤 誠 (神奈川) 桜井 薫 (神奈川) 谷口 美保 (東京・文京)
	ジャグラ作品展委員会	担当理事 委員長 審査委員 審査委員 審査委員 審査委員	尾形 文貴 副会長 戸来 一裕 理事 樋貝 浩久 理事 露木 貴弘 監事 高橋 亮太 (栃木) 坂本圭一朗 (高知) 小森 幸子 (新潟) 田中 幸恵 (大阪) 小林 未央 (山口) 池水 孝弘 (鹿児島) 川井 信良 (東京・三多摩/自費出版ネットワーク) 岩根 順子 (滋賀/自費出版ネットワーク) 稲満 信祐 理事 水谷 元泰 (愛知)
組織強化事業	サスティナブル委員会	担当理事 委員長	後藤 卓也 副会長 松下 忠 理事 高橋 亮太 (栃木) 宮本 誠 (栃木) 杉本 浩康 (兵庫) 菅野 潔 (東京・城東)
	地協・支部活動支援委員会	担当理事 委員長	後藤 卓也 副会長 杉本 浩康 (兵庫)
	会員拡大委員会	委員長 副委員長	岡本 泰 会長 原田 大輔 副会長 伊東 邦彦 理事 笹井 靖夫 理事 松下 忠 理事

			山本 康彦 理事 露木 貴弘 監事 藤田 靖 (北海道) 高橋 亮太 (栃木) 丸山 恵慈 (新潟) 中原 佳子 (愛知) 杉本 浩康 (兵庫) 作本 卓也 (兵庫) 近森純一郎 (高知) 松永 英明 (鹿児島) 武川 優 理事
	SPACE – 21	オブザーバー 担当理事 代表幹事 副代表幹事 副代表幹事 副代表幹事 副代表幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 直前代表幹事 オブザーバー オブザーバー オブザーバー	後藤 卓也 副会長 小澤孝一郎 理事 東海林正豊 (秋田) 稲本 創 (茨城) 松谷 勝広 (東京・文京) 田治 宏敬 (大阪) 佐藤 圭一 (宮城) 金子 貴博 (東京・千代田) 黒沢 武志 (石川) 竹内 正敏 (愛知) 瀬尾 淳 (広島) 近森純一郎 (高知) 早川 慎平 (福岡) 佐藤 愛子 (大分) 池水 孝弘 (鹿児島) 笹井 靖夫 理事 名久井龍夫 (岩手) 三宮 健司 (高知) 藤本 隆志 (広島)
マスターズクラブ	マスターズクラブ	会長 副会長 幹事 会計 監査	吉岡 新 顧問 田端 章 (宮城) 谷 忠明 (東京・三多摩) 橋本 征治 (大阪) 中村 耀 顧問 尾形 文貴 副会長 田中 良平 専務理事 沖 敬三 相談役
日本自費出版文化賞			NPO 法人日本自費出版ネットワークに運営を委託
個人情報保護	個人情報保護委員会	担当理事 兼委員長	樋貝 浩久 理事

			鈴木 将人 理事 清水 良二 (弁護士) 福長 恵子 ((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 常任顧問) 東 吉彦 ((一社)日本印刷学会会長) 畑下 洋紀 (富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)) 田中 良平 専務理事
		監査	清水 隆司 (東京・千代田)
プライバシー マーク審査会	プライバシー マーク審査会	審査会長 専門委員 専門委員 専門委員 業界委員 業界委員	清水 良二 (弁護士) 福長 恵子 ((公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 常任顧問) 東 吉彦 ((一社)日本印刷学会会長) 畑下 洋紀 (富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)) 樋貝 浩久 理事 鈴木 将人 理事
70周年記念誌 編纂委員会	70周年記念 誌編纂委員会	編纂委員長 副編纂委員長 企画協力	中村 耀 顧問 尾形 文貴 副会長 沖 敬三 相談役 都築 延男 参与 樋貝 浩久 理事 笹井 靖夫 理事 山中 克彦 (徳島) 川井 信良 (東京・三多摩) 岩根 順子 (滋賀) 坂本圭一朗 (高知) 田中 良平 専務理事 金澤 克明 (員外)
役員推薦委員 会	役員推薦委 員会	委員長 副委員長	松下 忠 理事・近畿地協会長 山本 康彦 理事・中国地協会長 渡辺 辰美 理事・北海道地協会長 後藤 卓也 副会長・東北地協会長 露木 貴弘 監事・関東地協会長 中村 盟 理事・東京グラフィックス副会長 黒沢 康憲 北陸地協会長 神山 明彦 副会長・東海地協会長 森 孝 副会長・四国地協会長 土 慶一郎 理事・九州地協会長

〔日印産連への派遣役員と委員〕

2025 年度、ジャグラなど印刷関連 10 団体で構成する日印産連に以下の通り、役員、委員を派遣した。

日印産連役職・委員会	役員委員氏名	ジャグラ役職（支部）
常任理事	岡 本 泰	会長
理事	原 田 大 輔	副会長
ステアリング・コミッティ（運営委員会）	岡 本 泰	会長
ステアリング・コミッティ（運営委員会）	田 中 良 平	専務理事
グラントデザイン 2030 プロジェクト	笹 井 靖 夫	理事
グラントデザイン 2030 プロジェクト	田 中 良 平	専務理事
労働安全衛生部会	田 中 良 平	専務理事
環境マネジメント部会	菅 野 潔	東京・城東支部
環境マネジメント部会	田 中 良 平	専務理事
グリーンプリンティング推進部会	菅 野 潔	東京・城東支部
GP 普及拡大 WG	菅 野 潔	東京・城東支部
GP 周知活動 WG	菅 野 潔	東京・城東支部
GP 制度検討 WG	菅 野 潔	東京・城東支部
知的財産部会	田 中 良 平	専務理事
広報部会	田 中 良 平	専務理事
情報共有プラットフォーム構築 WG		事務局長
日印産連表彰選考委員会	岡 本 泰	会長
環境優良工場表彰審査委員会	田 中 良 平	専務理事

〔その他各種団体への派遣役員と委員〕＝順不同

団体名・役職	役員委員氏名	ジャグラ役職（支部）
一般財団法人印刷図書館 理事	岡 本 泰	会長
公益社団法人日本印刷技術協会 理事	笹 井 靖 夫	理事
学校法人日本プリンティングアカデミー 理事	岡 本 泰	会長

〔事務局体制〕〔2026年3月31日現在〕

専務理事：田中 良平

事務局次長：阿部 奈津子

田中 良平：総会、理事会、日印産連、全国協議会、財政、各種委員会、ジャグラコンパクト DX、広報（機関誌）、個人情報保護、サステイナブル、会員拡大、作品展、自費出版ネットワーク、マスターズ、会館（運営・管理）、諸事業、対外折衝、プライバシーマーク審査 ほか

阿部奈津子：総会、理事会、全国協議会、事務局運営、総務、経理、会員管理、サーバー管理、地協支部支援、広報（ジャグラ HP）、ジャグラコンテスト、ジャグラショートカット、セミナー企画立案 ほか

長野未奈美：（育児休業中）

笠原賢一郎：総会、理事会、全国協議会、広報、ジャグラコンパクト DX、サステイナブル、年賀状デザインコンテスト、作品展、SPACE-21、マスターズ、プライバシーマーク審査 ほか

賀山 良枝：総会、理事会、会員管理、グループ保険、ジャグラショートカット、作品展、庶務 ほか

〔今年度逝去された会員〕

2025 年

日 付	支 部	会 社 名	氏 名
05 月 04 日	栃 木 県 支 部	株式会社タキタ	滝 田 有 彦
09 月 09 日	福 島 県 支 部	長瀬印刷株式会社	坂 本 和 久
10 月 17 日	高 知 県 支 部	株式会社伸光堂	中 越 忠 男
10 月 19 日	茨 城 県 支 部	常磐総合印刷株式会社	高 野 直 樹

2026 年

日 付	支 部	会 社 名	氏 名
02 月 03 日	東京・三多摩支部	三英グラフィック・アーツ株式会社	佐 藤 昇

(注) ジャグラ事務局あてに連絡がありました物故者のご尊名を掲載しました。